



学校だより

我慢 笑顔
努力する力

令和3年4月8日
長崎市立三和中学校
校長 岩永聡輔

年度初めのごあいさつ

新しい年度が始まり、2・3年生はそれぞれ上の学年に進級し、新たに1年生も迎え、三和中の令和3年度が動き始めました。始業式・入学式では次のような話をしました。

「大人になるための学校」

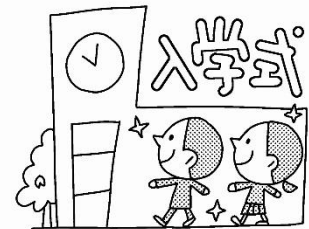
中学校は、義務教育9年間の後半3年間。つまり義務教育のまとめ「集大成」の3年間です。三和中では、「中学校は大人になるための学校」と捉えています。

今年度、皆さんを「大人」に近づけるために、先生方をお願いしたのが「優しく厳しく」です。生徒に「優しく厳しく」接してほしいとお願いしました。「間違っていることをしても注意しない」優しさと、「将来のことを考え、間違いを厳しく正す」優しさのどちらが「本物の優しさ」かは、明白です。

誰かがしてくれることを待つのではなく、目標に向かって自分が動くことで、少しずつ「大人」に近づいていきましょう。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症が学校教育にも影響を与えそうですが、十分な対策を取りながら、今できることを後回しにしないことが大切です。感染症予防のため、ご家庭でも様々な対策を取られている事と思います。学校でも対策を取っています。当面、朝からの家庭での検温と体調確認、「健康観察記録表」への記録は続けます。

始業式・入学式は無事実施することができました。1学期は、体育大会・市中総体・3年修学旅行と大きな行事が続きます。感染症対策のため、規模を縮小するなどの工夫をしながら、今のところ、実施を前提に計画を進めています。ただし、感染症の状況の変化により、対応が変化することもあり得ることをご了承願います。



校長より

昨年度は、感染症の影響で、学校行事の「中止」「延期」が相次ぎましたが、2月25日に、県立鶴洋高等学校の先生と生徒のご厚意によりドローンによる航空写真の撮影を実施することができました。「三中」の人文字には、全生徒・全職員が写っています。生徒にとっては、良い記念になったと思います。

今年度も、「できない」「形を変えなければならない」活動が出てくる可能性があります。できないことを嘆くのではなく、今できる事に精一杯打ち込むことで、達成感や充実感を味わってほしいと思います。良い思い出は「精一杯取り組んだ人へのご褒美」です。充実した1年間になるよう、中学生には、今を一生懸命に生活してほしいと思います。

・・・「明日できる事は今日しない」はダメですよ。

今年度の人事異動により数名の職員が異動しましたが、校長は昨年度に引き続き、岩永聡輔です。よろしくお祈りします。



校訓「自立」「親和」「協力」

合言葉「中学校は大人になるための学校」
キーワード「我慢」「笑顔」「努力する力」